

全編書き下ろし！ 古代道路に関する研究成果  
を旧国別に集めた画期的一書！

# 日本古代道路事典

古代交通研究会 編

2004年3月刊行予定！【予約募集中】

■ A4判 ■ 320頁（予定） ■ 上製本 ■ カバー装 ■ 本体予価 12,000円

考古学・歴史学・地理学による協業の最新研究成果を集積、研究史を一望できることはもちろん、多種多彩な図面により古代道路の研究状況・問題を整理。古代史研究者・歴史愛好家必携の書。

## 目次

総論 [木下 良]

### 第1章 各国の道路

畿内 山城国 [高橋美久二] / 大和国 [近江俊秀] / 河内国 [近江俊秀] / 和泉国 [森村健一] / 摂津国 [宮崎康雄]

東海道 伊賀国 [岡田 登] / 伊勢国 [岡田 登] / 志摩国 [岡田 登] / 尾張国 [北條献示] / 三河国 [林 弘之] / 遠江国 [佐野五十三] / 駿河国 [佐野五十三] / 伊豆国 [佐野五十三] / 甲斐国 [森原明廣] / 相模国 [荒井秀規・明石新] / 武蔵国 [江口 桂] / 安房国 [辻 史郎・山路直充] / 上総国 [辻 史郎・山路直充] / 下総国 [辻 史郎・山路直充] / 常陸国 [川井正一]

東山道 近江国 [内田保之] / 美濃国 [竹谷勝也] / 飛騨国 [田中 彰] / 信濃国 [倉澤正幸] / 上野国 [坂爪久純] / 下野国 [中山 晋・藤田直也] / 陸奥国-福島県 [菅原祥太] / 陸奥国-宮城県 [千葉孝弥] / 陸奥国-岩手県 [井上雅孝] / 出羽国-山形県 [高桑弘美] / 出羽国-秋田県 [高橋 学]

北陸道 若狭国 [赤澤徳明] / 越前国 [赤澤徳明] / 加賀国 [出越茂和] / 能登国 [出越茂和] / 越中国 [根津明義] / 越後国 [春日真実] / 佐渡国 [春日真実]

山陰道 丹波国 [樋口隆久] / 丹後国 [佐藤晃一] / 但馬国 [谷本 進] / 因幡国 [八峠 興] / 伯耆国 [八峠 興] / 出雲国 [内田律雄] / 石見国 [内田律雄] / 隠岐国 [内田律雄]

山陽道 播磨国 [吉本昌弘] / 美作国 [安川豊史] / 備前国 [吉本昌弘] / 備中国 [大橋雅也] / 備後国 [西別府元日] / 安藝国 [西別府元日] / 周防国 [吉瀬勝康] / 長門国 [吉瀬勝康]

南海道 紀伊国 [水田義一] / 淡路国 [浦上雅史] / 阿波国 [藤川智之] / 讃岐国 [山本英之] / 伊豫国 [柴田昌児] / 土佐国 [池澤俊幸]

西海道 筑前国 [山村信栄] / 筑後国 [神保公久] / 豊前国 [末永弥義] / 豊後国 [田中裕介] / 肥前国 [小松 讓] / 肥後国 [鶴嶋俊彦] / 日向国 [桑畑光博] / 大隅国 [渡部徹也] / 薩摩国 [渡部徹也] / 壱岐島 [川口洋平] / 対馬島 [川口洋平]

### 第2章 宮都の道路

難波宮 [辻 美紀] / 大津宮 [林 博通] / 藤原京 [山下信一郎] / 平城京 [館野和己] / 恭仁宮 [高橋美久二] / 紫香楽宮 [栄原永遠男] / 長岡京 [山中 章] / 平安京 [網 伸也]

八木書店

## 組見本 (A4 判)

武蔵路と東海道走水路線は廃止され、相模国府→武蔵国府→下総国府→上総国府の経路が東海道本道となる。

D期(弘仁六年～?) C期の駅家・駅路の整理が終了した段階。(ただし、DとE期の境の時期は不明)

E期(?～10世紀代) 武蔵国内の東海道本路が武蔵国府を経由しない経路へ変更になった段階。

### 3. 古代官道の遺跡

#### (1) 駅路

##### ア. 東山道武蔵路

(ア) 武蔵国府跡内 東山道武蔵路は、国衙から西方約2kmの位置を縦走する<sup>(19)</sup>。

- ①総延長300mは、全て直線。
- ②築道時期は不明だが、8世紀中頃の竪穴建物跡が側溝を壊して作られている。
- ③路面中央部にまで竪穴建物跡が進出する時期は、10世紀後半とされることから、少なくとも10世紀前半代までは路面としての機能が残っていたものと考えられる。

ている。直接築道時期を示す遺物は出土しな  
10世紀中頃まで路面が存続していたとされ  
細はすでに調査報告書<sup>(25)</sup>で公にされ、武蔵  
変遷を早川氏が詳述している<sup>(26)</sup>が、一般市  
とした活発な保存運動の高まりによって、道  
面保存されることになったことは記憶に新し  
さらに近年、国分僧寺北方の恋ヶ窪谷で確  
われ、幅9.5mの礫敷版築遺構が検出され  
的には、道路の下部に植物による粗朶などを  
上面に礫を敷き詰め、その上にロームと黒色  
を重ねた構造である。今のところ、架橋遺構  
されていないが、この発見によって、あくま  
蔵路が地形的な制約にとらわれず、直線性を  
ことがわかってきた。

(ウ) 武蔵国分寺跡～東の上遺跡の間(小平市  
東京都教育委員会と(財)古代学研究所が  
山道武蔵路のルート確認調査によって、武蔵  
方地区東恋ヶ窪五丁目地点から東の上遺跡は  
小平市上水本町など5地点で、東山道武蔵路  
た。これらの発掘調査で注目される点は、従

## 本書の特長

- 考古学・文献史学・歴史地理学等による協業の成果を集成。他分野から把握しきれない研究史が一望できる画期的な本。
- その地域の専門家が最新成果をコンパクトにまとめる、歴史愛好家必携の書。
- 多種多彩な図面により、視覚的、具体的に古代道路の研究状況・問題を整理。
- 執筆内容は、駅路研究史、駅路の変遷、古代官道の遺跡(駅路、伝路)、交通関連遺跡(国府内道路、交通関連施設、郡家跡、官衙関連遺跡)の4点から詳述。
- 全国各地の地方史関連諸施設必携。特に歴史民俗資料館、埋蔵文化財センター等必携の書。

申 込 書	2004年3月刊行予定		取扱店(番線印)
	<b>日本古代道路事典</b>		
	本体予価 12,000円・税別		
	お名前(ふりがな)		
		TEL	
		FAX	
		E-MAIL	